

# 立志プロジェクト2022 通し第13回

少人数クラス8組(演習)第8回:立志ふりかえりと志へ

2022年5月26日(木)14:20-16:00

リベラルアーツ研究教育院(ILA) 教授 中野民夫  
tamio.nakano@me.com



Tokyo Tech

(確認)

# 立志プロジェクト2022授業日程一覧

木曜の講義を受けて月曜に少人数が基本  
通しで全14回、少人数クラス(演習)は9回

## 【演習(少人数)】(月)zoom生

- 4/11 : **ガイダンス**
- 4/18 : 池上ふりかえり
- 4/25 : 隠岐ふりかえり
- 5/2 : 永野ふりかえり
- 5/9 : 書評セッション
- 5/16 : 須田ふりかえり
- 5/23 : 小川ふりかえり
- 5/30 : **最終プレゼン**

## 【講義】(木)までに動画配信

- 4/14 : 池上彰先生
- 4/21 : 隠岐さや香先生
- 4/28 : 永野三智先生
- 5/5 : 休み
- 5/12 : 須田桃子先生
- 5/20 : 小川公代先生
- **5/26 : 少人数クラス8**  
(最終プレゼン準備)

## 前回5/23（小川先生「ケアの倫理とエンパワメント」 ふりかえり）のフィードバックから

- 菊池泰洋: BORのおかげで、今回の動画がなぜ難しく感じてしまうのかを**メタ的に考察**することができた。
- 船橋樹: **主張の異なる人たちが**、どのように**落とし所**をつけるか、というのは難しい課題だと改めて感じた。
- 與那嶺城司: **正義、善と悪、法**について考えた。今までの中で一番深い話ができる。
- 小林杏彩: 講義の内容が難しかったこともあって、話合いの**問いを立てる**のが特に普段より難しく感じた。
- 吉田悠人: それぞれの**正義が善とは限らない**ということ。
- 水田 翔一: **経済的な面**はいつでもつきまとうと思った。
- アライタツヤ: 正義の難しさとこのように**考えさせる作品**を作ることの難しさを実感した。
- 小池陽大: ロシアの戦争の話で、資本主義と社会主義の理解の壁を超えるためにも**互いに知ろう**とするのが大事だと思った。
- 與那覇讓慈: **個人の自分と集団での自分の間の葛藤**や正義の葛藤が理解するのも話すのもむづかしかった
- 堀部貴徳: 講義の**形式**についての意見が主だった。作品**引用**に加えてベースとなる**主張**をわかりやすくすると相手に伝わりやすいと思う。
- 磯部奏太: 一つの話から**いろいろな話題に繋がられて話せた**ので面白かった

- 塚本萌加:自分が大学に進学して、将来権力を持つという可能性が高いと考えると、**そうでない人のことを考える**というのはマストに近いことなのではないかと思った。また、働いて税金を払ってくれる人がいるので、ある意味お金という面でその人たちに借金がある状態なのが大学生なのではないかと思った。
- 松嶋悠生:誰かに対して物を伝えるときは、自分が伝えたいことを盛り込もうとする意識以上に、**相手にちゃんと伝えようとする意識**が大事だと感じた。
- 川本 博詔:どっちもどっち論が完全に悪だと思って対話を進めたが、**対話を進めることでそうではないということがわかった**。自分にはない考え方に多く触れられて嬉しい。
- 水谷梨玖:色々な正義が混在する中ですり合わせを行うのは本当に難しい。一概に多数派が善とも言えない。**様々な文化的背景**を持つ人々の話し合いが必要
- 佐藤 普:**正義**とは何かを考えるのはとても難しい問題だと感じた。
- 金田伶絃:様々な作品に**ポリフォニー性**があり興味深いと感じた。
- 池田一真:人それぞれ正義があり、**お互いが理解**することが大切
- 長田文里:**現在のウクライナ情勢について意見を共有できたらいいなとずっと思ってた**ので、今回話が脱線してしまったが、脱線した結果自分の気になる話題の意見共有ができてよかった。
- 利光 孝文:**さまざまな意見を聞くことができて楽しかったです。意見共有の大切さを改めて感じました。**(人前で自分の意見をいえるようになりたいです。)
- 古賀 雅人:今回の講義は明快な正解がなく難しかった。**正義があるから悪が生まれる**という説には共感
- 佐々木正吾:正義は人によって様々ではあるが法の下で一定の制限を受ける。では**法は必ずしも正しい、あるいは正義なのだろうか**。どうしても民主主義が正義であるという前提で考えてしまうので難しかった。
- 穂山幸雄:今回の講義は内容がわかりにくく、形式のほうに目が行きがちだったが、BORで**ほかの人の意見**を聞き内容のほうにも理解が向いてよかった
- 穴倉 弘一:個人的な正義は**信条**に似ていて、それが大きく醸成される**青年期における環境**が人々の正義を形成するのだと感じた。

# 「書評集」が出来ました！

- 皆さんの書評最終稿をまとめた書評集が出来！
  - <https://drive.google.com/drive/folders/1JMjoj4QEf4qn3TT6kCX7mVNXElp5wUSs>
- お互いに読めて、コメントもできます。
  - ぜひ読み合って、コメントしあいましょう。
- 作ってくださった鈴木健雄先生、少し紹介を。
- ぜひ今後の読書に役立ててください。
  - 3年の教養卒論の時、8組のメンバーがまた集まります。それまでに各自のリベラルアーツ探検を！

# 5月26日：立志ふりかえりと志へ (5/30最終プレゼン準備) アジェンダ1420-1600

- 1420 オリエンテーション
- **1430 Step1.個人ブレスト**
  - 「私が立志PJで学んだこと」を10以上書き出す
- **1450 Step2.ホームグループHGで共有。**
  - 各自が発表し共有。（見える化の工夫）
  - 5/30「立志の学び3カ条」に向け、話し合い開始
    - 完成とプレゼンの練習は宿題でお願いします。
- **1520 Step3.「私の志／夢」を探ってみよう**
  - まだ言葉になっていない「奥深い希求」を探るワーク
- **1545 今後のリベラルアーツ関連情報**
- 1555 歌「気になることについていこう」

次回の5月30日  
最終プレゼンターション  
アジェンダ 1045-1225

- 1045 オリエンテーション 中野
- 1055 **ホームグループ「立志の学び3カ条」**
  - 各4分×7グループ
- 1130 **全員「私の志」**
  - 各1分×27人
- 1210 贈る言葉（歌） 中野

# Step1:個人でブレスト 立志プロジェクトで学んだこと

- 4月11日のオリエンから今日で13回。いろいろなことが。
  - 講義5回：池上、隠岐、永野、須田、小川先生+対談など
  - 少人数クラス5回の対話、書評セッションなど。
- 様々な気づきや発見そして学びがあったことでしょう。
  - **content**(話の内容)と**process**(過程・方法・起こったこと)
- **ブレスト**で10個以上出してみよう。書き出す準備を。
  - 単語ではなく何がどうよかったのか明解にわかる文章で。
    - 後で共有しやすいように、ワードやメモに入力しておこう。
  - **ブレインストーミング4原則**（自己検閲を緩める！）
    - **批判厳禁**：頭ごなしに批判・評価せず、なるほど！あるある。
    - **質より量**：とにかくたくさん出してみる。百打ちゃ当たる。
    - **自由奔放**：こんなこと・・・と思いがちな奇想天外なことこそ。
    - **結合歓迎**：一つのアイデアの尻馬に乗ってどんどん展開を。



# ホームグループ「立志の学び3か条」 最終プレゼンイメージ

- 30日、1から7班のホームグループごとに「立志の学び3か条」を全員で協働してプレゼンしてまいります。4分で。
  - シート（Google Form またはパワポ）を画面共有。
  - 発表グループメンバーのみ顔出し。他は videoオフ。
- 「伝える」と「伝わる」は違う。よく伝わるプレゼンを探究！
  - 自分の常識、人の非常識。相手の立場に立ってわかりやすい表現、話し方で。
- 流れと役割分担（例）（4人が1分以内ずつ）
  - 1人目：メンバー紹介、ホームグループの様子や雰囲気など紹介
  - 2人目：学び1を発表
  - 3人目：学び2を発表
  - 4人目：学び3を発表、締めの一言
    - 必ず時間を計ってリハーサルしてプレゼンとしての完成度を高めておくこと

(文字量のイメージ例) 50字強×3 = 163字

## 私 (中野民夫) のオンライン授業の学び3ヶ条

\*文字数は自由。パワポ3枚などに分けてくれてもOK。4分以内で

1. 人が集えないコロナ時代でも顔が見えて人と話せるzoom、特にBORでの少人数対話と交流は本当に貴重だと再確認！
2. オンデマンド動画は、いつでもどこでも見られるし、大講堂より画面もはっきり見え、何度も試聴できる利点もあるなあ。
3. これからはハイブリッド教育が必至。どう組み合わせるか、特に対面の場ならではの質の高い工夫をどう凝らすか、が鍵。

# Step2:ホームグループで共有 そして「3か条」に向けて統合へ

- 個人ベストで出したことを、HGで発表しあい共有したく
- まず「見える化」の準備
  - Zoomのホワイトボード、チャットの活用。Googleスライドなどの活用
    - 最終プレゼン（準備）シート統合版を作ってみました。役立つなら使ってみて。
      - <https://docs.google.com/presentation/d/1ycA4LQtrrPixdbvFnFhoaW80Q-BP9-XtgUlwp6K586s/edit#slide=id.p>
- シェア（共有）の方法。どうしたら良いか話し合っで。
  - ①一人1個ずつ出して（書いたりペースト）どんどん回す。
  - ②各自ベスト5くらいに絞って、画面共有して説明、等
- さあ、どう3つにまとめる？結果より話し合うプロセスを大事に。
  - まずは真意をよく聴き合う。安易に「同じ！」と迎合せず細かな違いを確認。
  - 言葉の表面ではなく、本質が似ているものをまとめていく。
  - 共通性の高いものだけでなく、意外なもの、独自のものなども。
  - 正解はない。よく話し合っで、今後も忘れたくないこと、大事にしたいことを。

# 宿題1

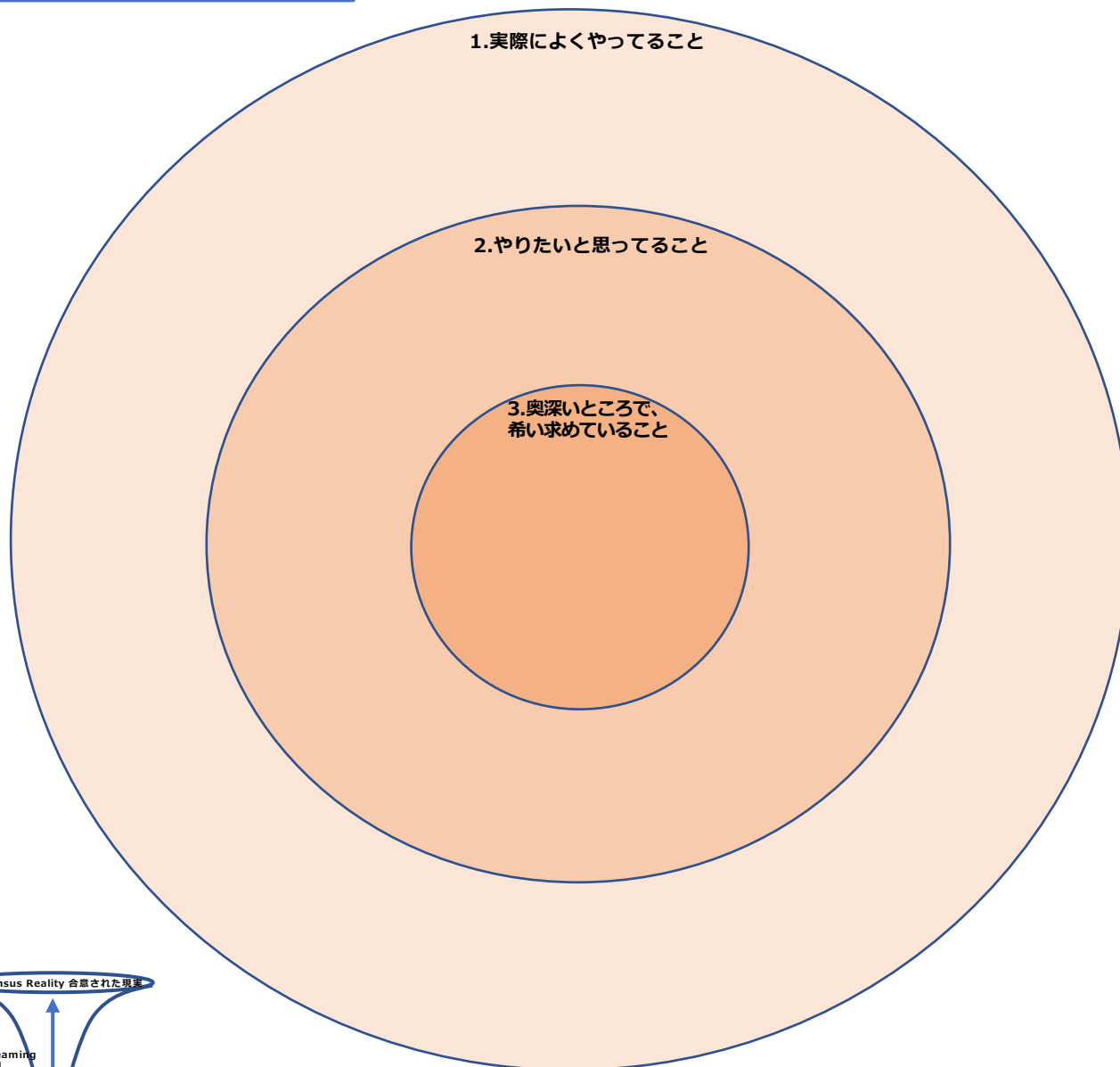
魅力的な「最終プレゼン」の準備を！  
Zoomなどでミーティングを重ねて。

- 「プレゼンテーション」を実際にやってみる授業。
- スライドの完成度を上げる。
  - 書体の選定、文字量、レイアウト、図写真なども
  - 1枚でも数枚でもいいです。4分を意識。
  - 持ち寄りわかりやすいものをベースに。細部にもこだわって。
- 一人ひとりで話し方の練習、リハーサルを。
  - 視線を上げ笑顔で。伝わりやすいよう明快な調子で。
  - まずは原稿を用意し、時間計ってみて、量を調整。
  - 最後は原稿を見ないで話せるように何度も練習。
- 必ず全員で通しリハーサルを！ 4分しっかり測って
  - 資料の提示や交代、つながりのタイミングを練習
  - 皆がそれぞれなりに輝けるように
- **いっとう打ち合わせするか、作戦タイム。2分設けますね。**

## Step3. 志（夢、やりたいこと） を探るワーク

- 「志」：心の向かうところ。心にめざすところ
  - 「夢」：将来実現したい願い。理想。（広辞苑）
- 志：自分を生かし、かつ社会に貢献できること。
  - リベラルアーツ（自由にする／なる技）
    - 社会性・人間性・創造性を育み、大きな志を描こう！
- だけど自分の本当にやりたいことって何？
  - よくわからないよね。言語化・意識化は特に難しい。
  - その探究の一助として「自分の奥深い希求」(intention)を探るミニワークを考案しました。

名前： \_\_\_\_\_  
年月日： \_\_\_\_\_



#### <作業手順>

##### 1. 実際によくやっってること

まず、日頃実際によくやっていることを思い出して、あれこれメモしてみる。外の輪、どこでもOK。

仕事、家事、人との付き合い、趣味、stay homeで時間を使っていること、等

##### 2. やりたいと思ってること

次に、好きなこと、やりたいと思うこと、夢、などを、あれこれメモしてみる。中の輪どこでもOK。

実際にもうやっていることでも、まだできていないことでもOK

##### 3. 奥深いところで、希い(願い) 求めていること

さらに、これらを見渡しながら、自分の奥底の深い所で、まだ意識化できていないかもしれない、ひそやかな希い(願い)、静かに求め続けていること、って何だろう。一番内の輪、どこでもOK。

考えるより、浮かんでくるイメージを待って、自由にメモしてみよう。

##### 4. 眺めてみて、どんな気づきや発見、あるいは確認がありますか？

ふりかえって右下の枠にメモしてみよう。

#### 4. 気づきや発見、確認

Consensus Reality 合意された現実

Dreaming  
夢見

不可知の領域、カミ、  
Tao

それでは、5月30日（月）  
10:45からの最終プレゼン  
を楽しみにしています。

そうそう、最終回、ILA院長の山崎太郎先生が、  
皆さんの話を聞きたいと回ってくるそうです。

## 宿題2

# リベラルアーツ研究教育院. 院長 山崎太郎先生の最終メッセージ動画

- <https://www.youtube.com/watch?v=rEPjeC8f6CE>
- 東工大に入り、立志プロジェクトを終えるにあたり、リベラルアーツ研究教育院（ILA）を今年度から牽引するタローちゃん。
  - ドイツ文学、オペラ、特にワーグナー研究の大家。本人も美声で歌い演じる。
  - 皆さんに贈る、立志Finalメッセージです。
- 17分ほど。
  - 最終プレゼンをまとめるヒントにもなるので、各自で必ず試聴しておいてください。





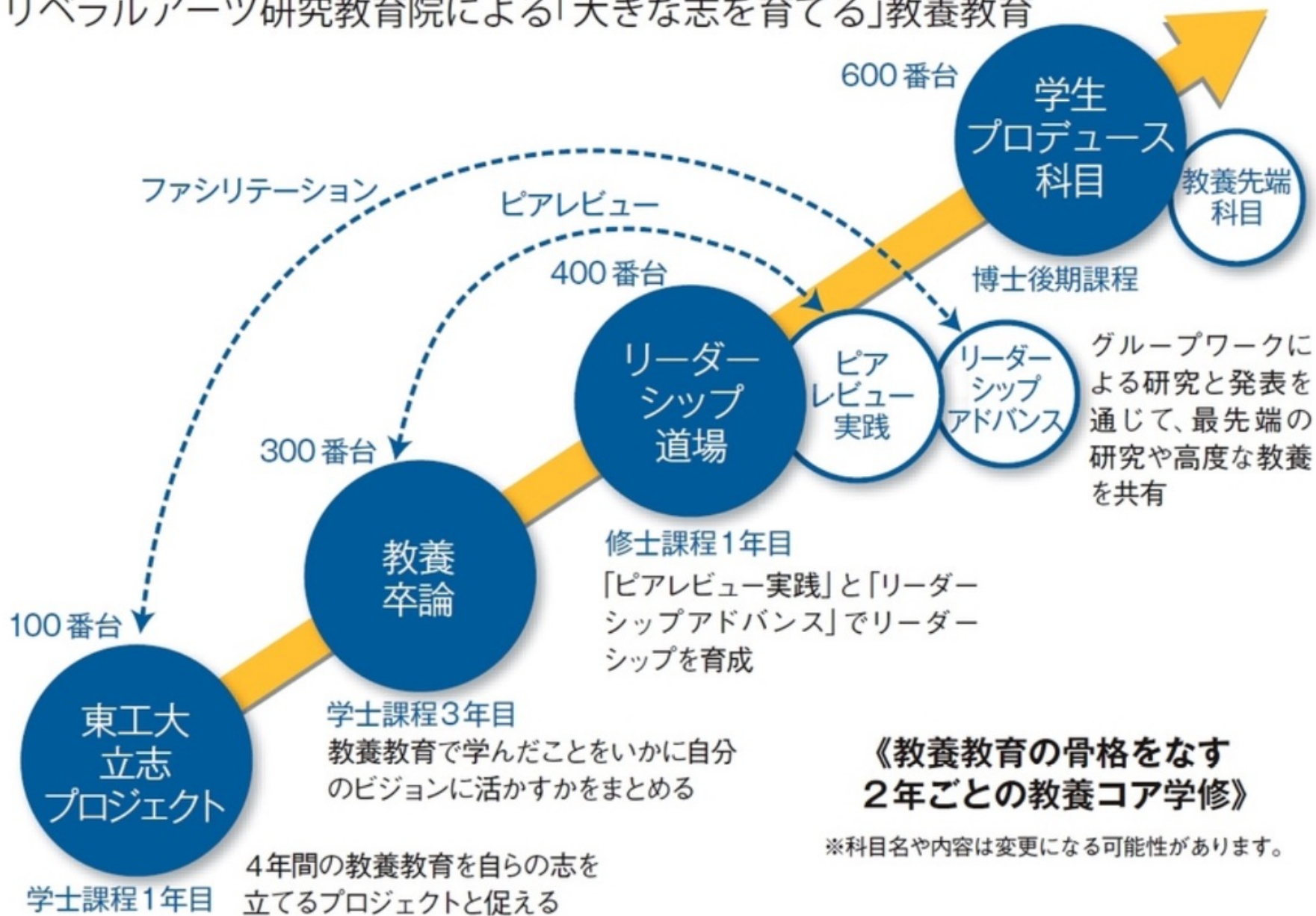
東工大立志プロジェクト

## <今後について>

1. ILAコア学修プログラム
2. 教養卒論
3. 文系ゼミ
4. 社会・人間科学コース
5. 池上彰先生に「いい質問」をする会
6. 蔵前立志セミナー「ロボットと私」

このスライドは、後ほどT2SCHOLAに掲載します

# リベラルアーツ研究教育院による「大きな志を育てる」教養教育



## 教養卒論 [学部3年必修]

ピア  
レビュー

## ピアレビュー実践 [修士2年選択]

3年生で履修する学部教養教育の出口となる科目。新しい教養教育では、ひとりひとりが自分の目的にあった「学びのストーリー」を描くことが大切。これまでの教養教育で何を学んだのか、またそれは今後の自分のビジョンにとってどう生きてくるのか、文章にまとめます。執筆は、小グループ単位で修士課程の学生のピアレビューを受けながら行います。



**昨年度の優秀論文集が人文図書室にあります!**

### 7/21 (木) R3年度 教養卒論発表会 開催予定!

(17:30~ @大岡山キャンパス西9号館 E棟2階 デジタル多目的ホール)

\* 昨年度、優秀論文賞を受賞された人のうち、発表希望者を招いて**対面** (一部動画発表あり) で開催します。

**詳細は追って、大学広報等を通じてアナウンスします。**

\* 優秀論文集 (冊子) をリベラルアーツ図書室 (西9号館E棟1階) で閲覧できます。 <http://libra.ila.titech.ac.jp/>

\* R3年度の優秀論文と受賞者一覧は、右のリンクから。 [https://educ.titech.ac.jp/ila/news/2021\\_04/060571.html](https://educ.titech.ac.jp/ila/news/2021_04/060571.html)

\* 過去の発表会の様子は、右のリンクから。 <https://www.titech.ac.jp/news/2019/045473>

# 教養卒論に向けて

論文執筆の  
2大ハードル

どうせやるなら、

## 本当に書きたいテーマで執筆してほしい

- 「自分は何をしたいのか」「普段感じている疑問」など  
テーマになりそうなことを探して、探求してみる  
(自身の内側から湧き出すテーマでないと、  
5,000字～10,000字書くのはつらい！)

どうせやるなら、

## 深く広く、質の高い探究をしてほしい

- 普段の授業の中で、
- \* 教員が、問題に対してどのようにアプローチしているかを観察してみる（受け身で聞かない）
  - \* レポートで「問いを立てる」練習を試してみる

# 文系ゼミ(少人数)

## 2022年度開講科目

### 人文学系

- 創造と思考のレッスン
- 参加と協働と至福の場づくり
- 現代宗教／スピリチュアリティ論
- 博物館と歴史学
- 自分発見、社会・文化・人間探求セッション
- インプロ／吹奏楽

### 社会科学系

- 心理学
- 政治と社会
- 日米関係と沖縄
- 政策とメディアの社会学
- 法学ゼミ

### 融合系

- 意思決定論

# リベラルアーツ研究教育院の教員の指導を受けられる系・コース 環境・社会理工学院 社会・人間科学系・コース



社会・人間科学系について

三 トップページ 社会・人間科学系について 私たちのビジョン

私たちのビジョン

人文学・社会科学・理工学を駆使して人と社会と科学技術の  
新しい未来をひらくリーダーを育てます。

社会人間科学系が育てるのは「5T Leaders」。人文・社会・理工の知と方法をもって（Trans-disciplinary）、人間と社会と科学技術をつなぎ（Translational）、価値形成（Transformational）と問題解決（Transactional）に進進する国境なき（Transnational）リーダーです。「5T Leaders」に必要な、人文学・社会科学・理工学についての広い知識、政治・法律・行政、教育・福祉・健康、文化・芸術、科学技術社会、認知・数理・情報などの分野における高い専門性、自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する価値形成力、そして、必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する問題解決力を獲得できます。

<https://educ.titech.ac.jp/shs/>

# 池上彰先生に「いい質問」をする会 5



開催日時：2022年7月5日(火) 1800-1930  
 対象：本学学生および教職員  
 定員：1,000名、先着順（要事前予約）  
 参加費：無料

## 今回のトピックスは 「戦争」「経済」「仮想空間」

コロナ禍とウクライナ戦争により、世界中の経済の激変しました。加速した仮想空間—メタバース（VR）や拡張現実（AR）など、歴史と文明が大きく動いた2022年。

みなさんが抱く疑問や悩み質問を、池上彰先生にぶつけてください！

◆ 参加申し込みはこちらから:

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_3oXa5GCQScWfEjAzan5zcQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_3oXa5GCQScWfEjAzan5zcQ)



◆ 事前の質問受け付けはこちらから:

[https://docs.google.com/forms/d/1phZyo4sta864cdCnvuRbpWxRbKiN-6xMilPeP8zzjIQ/viewform?edit\\_request\\_ed=true](https://docs.google.com/forms/d/1phZyo4sta864cdCnvuRbpWxRbKiN-6xMilPeP8zzjIQ/viewform?edit_request_ed=true)



※当日はZoomウェビナーのQ&Aでも質問を受け付けます。

主催：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院

第21回  
蔵前立志  
セミナー

# ロボットと私

#共生社会

#ロボットコンテスト

#ロボ

参加費  
**無料**

要事前申し込み

東京オリンピック・パラリンピックでロボットはどう活躍したのか？  
その舞台裏で開発者は何を感じたのか？



講師

パナソニック株式会社  
事業開発室ロボティクス・  
アクセシビリティPJ  
黒川 崇裕氏

(1992制御 1994機制御)

在学時には制御工学を専攻。NHKロボットコンテストの第一期生で、ロボット関連の職に就いたり起業したりする同期が多く、大学におけるコンテスト形式の教育はその後の人の人生に大きく影響を与えると実感。入社後はパナソニックにて産業用ロボットの開発を経て、東京オリンピック・パラリンピックにて組織委員会内にロボットプロジェクトを立ち上げ、役に立つロボットを国内外に訴求した。

2022/7/12 火  
18:15 ▶ 20:00

終了後、希望する  
学生と講師との  
雑談タイムを設定予定

開催方法

ZOOM

申込者にURLを通知します

対象者

東工大  
在学生・卒業生・教職員



左上から 腰と腕の負担を軽減するパワーアシストスーツ [TATOUN MODEL Y + kote] / 歩行支援用パワーアシストスーツ [TATOUN HIMOQ] / ロボット掃除機 開発モデル



お申し込み方法

7月7日(木)迄に下記URLまたは  
QRコードからご登録ください。  
[https://www.kuramae.ne.jp/  
kuramaerisshi/](https://www.kuramae.ne.jp/kuramaerisshi/)



お問い合わせ

蔵前工業会東京支部事務局  
☎ 03-3748-4447  
✉ kuramae-tokyo@deluxe.ocn.ne.jp



最後に中野からメッセージ

“Follow your bliss!”

自分の至福を追求しなさい  
→気になることについていこう



神話学者Joseph Campbell『神話の力』の中で。

「（至福の追求は）本人が生き生きするだけでなく、  
周りに必ず良い影響を与える」

「生き生きとした世界が真っ当な世界」など  
志、夢、やりたいことを模索する皆さんに贈りたい。

# 気になることについて行こう (Follow your bliss!)

2018,5 詩・曲：中野民夫

1.好きなこと、やればいい  
でもそれなかなか難しいよね  
まわりの世界に合わせるうちに  
やりたいことすらわからなくなる

でも大丈夫、本当は知ってる  
みんな地球の子どもだから  
一人ひとりがのびのびやれば  
僕らを生んだ宇宙も喜ぶ

\* 自分の至福について行け  
フォロー、ユア、ブリス  
気になることについて行こう  
フォロー、マイ、ブリス

2.春のきざしに花ほころんで  
緑がまばゆく目覚めるように  
考えるより、いのちのままに  
カラダとココロが歓ぶ方へ

外に向かって頑張るよりも  
内なる気配について行こうよ  
僕らは宇宙の最前線  
やることすべてが天地創造

\* 自分の至福について行け  
フォロー、ユア、ブリス  
気になることについて行こう  
フォロー、マイ、ブリス



# フィードバック記入

- 何か質問があれば、どうぞ
- では最後に少しふりかえり。
  - 今日の授業を振り返ってみて「気づいたこと、発見したこと、学んだこと」など自由に。
  - **チャットに書いてください。**